様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ゲームクリエイター	夜・通信	（新）２４０ （旧）２４０	２４０	
	情報システム	夜・通信	（新）２４０ （旧）２４０	２４０	
	情報処理	夜・通信	１８０	１６０	
	グラフィックデザイン	夜・通信	１８０	１６０	
医療専門課程	歯科衛生士	夜・通信	２４０	２４０	
衛生専門課程	美容	夜・通信	９００	１６０	
	パティシエ・ベーカリー	夜・通信	５１０	１６０	
	高度調理	夜・通信	１８０	１６０	
教育・社会福祉専門課程	保育・幼児教育	夜・通信	１６５	１６０	
	介護福祉	夜・通信	１８０	１６０	
商業実務専門課程	情報ビジネス	夜・通信	１８０	１６０	
	医療事務	夜・通信	３００	１６０	
	マンガ・イラスト	夜・通信	１８０	１６０	
文化・教養専門課程	ブライダル・ホテル	夜・通信	１８０	１６０	

文化・教養専門課程	公務員ビジネス	夜・通信		１６０	※
	公務員	夜・通信		８０	※
（備考） ゲームクリエイター学科の今年度３年は旧課程 情報システム学科の今年度３年は旧課程					

２.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて公開　https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/ ３．各コース等の教育

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名　公務員学科、公務員ビジネス学科
（困難である理由） 本学科は、国家公務員（高卒者試験）・地方公務員（初級）の採用試験合格を目指し、一般知識・一般知能の科目を中心に指導しているため、実務経験のある教員による指導が困難です

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ＨＰにて公表　https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/ ４．役員・教職員　⇒　役員一覧

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	穴吹カレッジグループ本部 部長	令和４年６月１日 ～ 令和６年５月 31 日	企画・調整
非常勤	歯科医師	令和４年６月１日 ～ 令和６年５月 31 日	企画・調整 教育課程編成
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定し、4月に公開する。

※シラバスの主な記載項目

(1)科目名
その授業の科目名を記載します
(2)学科／学年
授業を行う学科名および学年を記載します
(3)年度／時期
授業を行う年度および時期（前期・後期）を記載します
単位制の場合は標準履修年次を記載します
(4)授業形態
講義もしくは演習、実習等授業形態について記載します
(5)授業の回数
授業を行う回数（コマ数）を記載します
(6)単位数（時間数）
学則に記載している時間数を単位換算したものを記載します
講義：１５時間を１単位とする
演習、実習：３０時間を１単位とする
時間数は９０分授業の場合、１コマ＝２単位時間
(7)必須・選択
必須授業もしくは選択授業について記載します
(8)授業担当者
授業を担当する教員名を記載します
複数の教員で担当する場合は全員の氏名を記載します
また、実務経験がある教員の場合はその旨を記載します
(9)授業の目的・ねらい
授業の趣旨を記載します
授業を行うのは教員なので、教員を主語として具体的に記入します
また、実務経験がある教員が授業を行う場合は、実務経験をどのように活かして授業を行うかを記載します
(10)授業終了時の達成課題（行動目標）
授業終了時点において学生が修得している必要がある学修成果について記載します
(11)授業の内容
授業の各回におけるテーマおよび内容について具体的に記入します
※学生の理解度・実態に応じてやむを得ず変更する可能性もあります
(12)準備学習
授業に臨む前に行っておくべき内容を記載します
(13)使用テキスト
使用するテキストや参考書等を記載します
(14)単位の認定方法及び基準（試験等の評価方法）
評価方法について記載します
また、評価基準についてそれぞれの項目の評価割合を記載します

授業計画書の公表方法	HP にて公開 https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/ ３．各コース等の教育 ■シラバス

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

（総合評価の評定基準）

各授業科目の総合評価は、シラバスに記載された基準に従い、定期試験の 成績と学習状況並びに出欠状況、さらに課題学習等を勘案し、Ａ～Ｄの 4 段 階にて評定する。評定Ａ，Ｂ，Ｃは合格で、Ｄは不合格である。

２ 前項の 4 段階の評定基準は、次のとおりとする。

Ａ：科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく優秀な者（80 点以上）

Ｂ：科目に対する理解及び日常の学習状況等が良好な者（70 点以上 79 点以下）

Ｃ：科目に対する理解及び日常の学習状況等がやや劣る者（60 点以上 69 点以下）

Ｄ：科目に対する理解及び日常の学習状況等が著しく劣る者（59 点以下）

３ 各授業科目の総合評価に当たっては、当該授業科目担当教員等の意見を勘案し、合否を判定する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

（成績評価に係る指標の算定方法）

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	HP にて公開 https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） (卒業) 原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HP にて公開 https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校徳島穴吹カレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門	ゲームクリエイター	○	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	2446 単位時間／単位	420 単位時間/単位	212 単位時間/単位	1814 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2446 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
45 人	37 人	0 人	13 人	4 人	17 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） １　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１２人 （100%）	０人 （　0%）	１２人 （　100%）	０人 （　0%）
（主な就職、業界等） システム管理、ＷＥＢデザイナー等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

（主な学修成果（資格・検定等）） ＣＧクリエイター検定、Ｃ言語プログラミング能力認定試験等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４０人	３人	7.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門	情報システム	○	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼間	2460 単位時間／単位	810 単位時間/単位	1260 単位時間/単位	390 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2460 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
45 人	48 人	1 人	4 人	6 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１５人（100%）	０人（ 0%）	１４人（ 93.3%）	１人（ 6.7%）

（主な就職、業界等）
プログラマ、システムエンジニア等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、ＩＴパスポート試験等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	4 人	7.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門	情報処理		ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間／単位	660 単位時間/単位	1050 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1710 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	3 人	0 人	4 人	3 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
０人（100%）	０人（　0%）	０人（　0%）	０人（　0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門	グラフィックデザイン	○	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1712 単位時間／単位	106 単位時間/単位	1514 単位時間/単位	92 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1712 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	30 人	0 人	4 人	8 人	12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
17 人（100%）	0 人（ 0%）	16 人（ 94.1%）	1 人（ 5.9%）

（主な就職、業界等）
グラフィックデザイナー、広告制作等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療</td><td>医療専門</td><td colspan="2">歯科衛生士</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2610
単位時間／単位</td><td>825 単位時間/単位</td><td>60 単位時間/単位</td><td>1725 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2610 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">80 人</td><td>44 人</td><td>0 人</td><td colspan="2">10 人</td><td colspan="2">20 人</td><td>30 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） １　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	0 人 （　0%）	7 人 （　100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 歯科医院等			
（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等			

（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科衛生士国家試験、歯科医療事務管理士など
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	2 人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛生</td><td>衛生専門</td><td colspan="2">美容</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">2010
単位時間／単位</td><td>586 単位時間/単位</td><td>60 単位時間/単位</td><td>1364 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">2010 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	64 人	0 人	6 人	9 人	15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 （100%）	0 人 （　0%）	35 人 （　100%）	0 人 （　0%）

（主な就職、業界等）
美容師等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	5 人	6.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生専門	パティシエ・ベーカリー	○	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1760 単位時間／単位	736 単位時間/単位	94 単位時間/単位	930 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1760 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50 人	32 人	0 人	9 人	18 人	27 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
15 人（100%）	0 人（ 0%）	14 人（ 93.3%）	1 人（ 6.7%）

（主な就職、業界等）
パティシエ、洋菓子店スタッフ等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 製菓衛生師、食生活アドバイザー等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	1 人	3.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	衛生専門	高度調理	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1786 単位時間／単位	706 単位時間/単位	30 単位時間/単位	1050 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1786 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	20 人	0 人	2 人	9 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
15 人（100%）	0 人（ 0%）	14 人（ 93.3%）	1 人（ 6.7%）

（主な就職、業界等）
調理師、ホテル、病院など

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 調理師免許等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育・社会福祉</td><td>教育・社会福祉専門</td><td colspan="2">保育・幼児教育</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1882
単位時間／単位</td><td>480 単位時間/単位</td><td>922 単位時間/単位</td><td>450 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>30 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1882 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50 人	13 人	0 人	6 人	11 人	17 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１６人 （100%）	０人 （　0%）	１６人 （　100%）	０人 （　0%）

（主な就職、業界等）
認定こども園、保育園等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭２種等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２６人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育・社会福祉</td><td>教育・社会福祉専門</td><td colspan="2">介護福祉</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="3">２年</td><td rowspan="3">昼間</td><td rowspan="3">1962
単位時間／単位</td><td>（日本人）
894 単位時間/単位</td><td>（日本人）
612 単位時間/単位</td><td>（日本人）
456 単位時間/単位</td><td rowspan="2">0 単位時間/単位</td><td rowspan="2">0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td>（留学生）
924 単位時間/単位</td><td>（留学生）
582 単位時間/単位</td><td>（留学生）
456 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1962 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	17 人	12 人	4 人	4 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） １　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 （　100%）	０人 （　0%）	10 人 （　100%）	０人 （　0%）
（主な就職、業界等） 介護施設			

（就職指導内容） 担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務</td><td>商業実務専門</td><td colspan="2">情報ビジネス</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td colspan="2">実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1710
単位時間／単位</td><td>750 単位時間/単位</td><td>270 単位時間/単位</td><td>690 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td colspan="2">0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1710 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
45 人	42 人	0 人	5 人	4 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１８人 （100%）	０人 （　0%）	17 人 （　94.4%）	１人 （　5.6%）

（主な就職、業界等）
システム職、社内 SE、広報事務、事務総合職、一般事務、EC 運営、販売等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 情報活用(J検)、Microsoft office Specialist Word Expert、WebｸﾘｴｲﾀｰExpert、ビジネス文書2級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	4人	10.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務</td><td>商業実務専門</td><td colspan="2">医療事務</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td colspan="2">実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1762
単位時間／単位</td><td>1218 単位時間/単位</td><td>364 単位時間/単位</td><td>180 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td colspan="2">0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1762 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	15 人	0 人	7 人	3 人	10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）

１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する

２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない

３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
12 人 （100%）	0 人 （　0%）	11 人 （　91.7%）	1 人 （　8.3%）

（主な就職、業界等）

医療事務、医師事務、調剤事務

（就職指導内容）

担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務管理士、医療事務技能審査試験等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、 民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務</td><td>商業実務専門</td><td colspan="2">マンガ・イラスト</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1726
単位時間／単位</td><td>76 単位時間/単位</td><td>1650 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1726 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td colspan="2">うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">30 人</td><td>31 人</td><td colspan="2">0 人</td><td colspan="2">3 人</td><td colspan="2">8 人</td><td>11 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） １　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

<table>
<tr><td colspan="4">卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</td></tr>
<tr><td>卒業者数</td><td>進学者数</td><td>就職者数
（自営業を含む。）</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>17 人
（100%）</td><td>0 人
（　0%）</td><td>17 人
（　100%）</td><td>0 人
（　0%）</td></tr>
<tr><td colspan="4">（主な就職、業界等）
CG アニメ会社、広告制作、販売職等</td></tr>
<tr><td colspan="4">（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等</td></tr>
</table>

（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、Photoshop 検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３６人	４人	１１．１％
（中途退学の主な理由） 精神的な問題を抱えていたため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門</td><td colspan="2">ブライダル・ホテル</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">ー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1726
単位時間／単位</td><td>766 単位時間/単位</td><td>720 単位時間/単位</td><td>240 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1726 単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">30 人</td><td>27 人</td><td>0 人</td><td colspan="2">6 人</td><td colspan="2">9 人</td><td>15 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する
成績評価の基準・方法
（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する
卒業・進級の認定基準
（概要） １　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する ２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない ３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する
学修支援等
（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

<table>
<tr><td colspan="4">卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</td></tr>
<tr><td>卒業者数</td><td>進学者数</td><td>就職者数
（自営業を含む。）</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>15 人
（100%）</td><td>０人
（　0%）</td><td>14 人
（　93.3%）</td><td>1 人
（　6.7%）</td></tr>
<tr><td colspan="4">（主な就職、業界等）
ブライダルコーディネーター、サービススタッフ等</td></tr>
<tr><td colspan="4">（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等</td></tr>
</table>

（主な学修成果（資格・検定等）） アシスタント・ウェディング・プランナー検定、サービス接遇検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３０	３人	１０％
（中途退学の主な理由） 経済的問題、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門</td><td colspan="2">公務員ビジネス</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">ー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1700
単位時間／単位</td><td>780 単位時間/単位</td><td>640 単位時間/単位</td><td>280 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td><td>0 単位時間/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1700 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
65 人	27 人	0 人	4 人	1 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 （ 0%）	0 人 （ 0%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等））
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門	公務員	ー	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	850 単位時間／単位	390 単位時間/単位	320 単位時間/単位	140 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			850 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
15 人	6 人	0 人	4 人	1 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成、それを校長が決定する

成績評価の基準・方法

（概要）学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目 についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点） し、合計した上でその平均点を算出する

卒業・進級の認定基準

（概要）
１　原則として修業年限内に履修すべき全科目の単位を認定されている者に対し、校長は卒業を認定する
２　当該学年における欠席時間数が、出席すべき時間数の１５％以上欠席した者は卒業できない
３　相当の事由がある場合で、卒業判定会議において認められたとき卒業する

学修支援等

（概要）担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
9 人（100%）	0 人（ 0%）	6 人（ 66.7%）	3 人（ 33.3%）

（主な就職、業界等）
公務員、製造業等

（就職指導内容）
担任、就職専門スタッフによる個別ガイダンス、面接指導等

（主な学修成果（資格・検定等）） 電卓検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 所属長を交えたガイダンスや外部カウンセラーによるカウンセリング制度導入、民間の学費サポート制度紹介など		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
ゲームクリエイター学科	160,000 円	1,000,000 円	140,000 円	
情報システム学科	160,000 円	1,000,000 円	140,000 円	
情報処理学科	160,000 円	1,000,000 円	140,000 円	
グラフィックデザイン学科	160,000 円	1,060,000 円	140,000 円	
歯科衛生士学科	160,000 円	390,000 円	190,000 円	
美容学科	160,000 円	800,000 円	290,000 円	
パティシエ・ベーカリー学科	160,000 円	1,060,000 円	250,000 円	
高度調理学科	160,000 円	1,060,000 円	400,000 円	
保育・幼児教育学科	160,000 円	690,000 円	150,000 円	
介護福祉学科	160,000 円	1,000,000 円	120,000 円	
情報ビジネス学科	160,000 円	1,000,000 円	140,000 円	
医療事務学科	160,000 円	1,000,000 円	130,000 円	
マンガ・イラスト学科	160,000 円	1,060,000 円	140,000 円	
ブライダル・ホテル学科	160,000 円	1,000,000 円	160,000 円	
公務員ビジネス学科	160,000 円	1,000,000 円	160,000 円	
公務員学科	160,000 円	1,000,000 円	200,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
穴吹カレッジ特待生制度（納付金より最大１００万円免除） 高資格・検定取得者特待制度（納付金より最大１００万円免除）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
主な評価項目：教育課程、進路指導、学校運営、学生支援、教育活動など ①関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける ②自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する ③結果として、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCA サイクルを回し続ける 委員は６名以上とし、次に掲げる者の内から校長が委嘱する。 ①保護者 ②卒業生 ③地域住民 ④企業関係者 ⑤高等学校関係者 ⑥その他教育に関する有識者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本ヘアカラー協会徳島支部	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員

有限会社ファースト美容院	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
株式会社ＣＨＡＫＲＡ	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
一般社団法人徳島新聞社	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
マインド　ｍｉｎｄ　ｉｎｃ．	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
徳島県洋菓子協会	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
株式会社イルローザ	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
ＮＰＯ法人繁盛店への道	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
株式会社ホテルグランドパレス	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
全国日本司厨士協会　徳島県本部	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
やすながグループ	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
ニタコンサルタント株式会社	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
ヒノマル☆プロジェクト	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
全国医事振興協会　理事	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
一般社団法人徳島県歯科衛生士会　会長	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
佐賀歯科医院　副院長	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
社会福祉法人日本保育協会　徳島県支部長	R4.7.1～R6.3.31	企業等委員
助任なかよし認定こども園　園長	R4.7.1～R6.3.31	企業等委員
一般社団法人徳島県情報産業協会	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
株式会社穴吹カレッジサービス　徳島支店長	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
株式会社オリガミ・キャリアデザイン	R5.4.1～R6.3.31	企業等委員
	R5.4.1～R6.3.31	高等学校元校長
	R5.4.1～R6.3.31	保護者
	R5.4.1～R6.3.31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://web.anabuki-college.ac.jp/disclosure/